

関連項目：指導体制プラン①、教育活動プラン⑤

## 栗林AKB大作戦により、「廊下歩行」と「あいさつ」を徹底する

### 目的

本校の生徒指導における重点指導項目は、「正しい廊下歩行」と「あいさつ」です。そこで、児童（きまりを守ろう委員会）の発意により生徒指導キャンペーン「栗林AKB大作戦」を企画・提案し、全校児童に働きかけて、よりよい学校生活を目指した取組を行いました。

### 内容

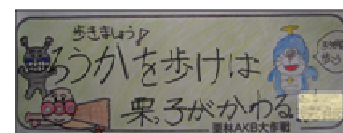
#### ● 第1回栗林AKB大作戦「歩こう 必ず ぼくわたし」（6月）

##### 【実施方法】

- ① きまりを守ろう委員会が、中央廊下で正しい廊下歩行を呼びかける。
- ② 1週間の取組をふり返り、明らかになった課題を協議し、全校生を巻き込んでの活動につなげる。（栗林AKB隊員を全校生から募集し結成する。隊員には会員証を渡す。）（2週目）
- ③ 栗林AKB隊を結成して、全校生に正しい廊下歩行を呼びかける。
- ④ 3週目の活動をふり返り、成果と課題を明らかにして、正しい廊下歩行を呼びかける。（4週目）
- ⑤ 正しい廊下歩行を呼びかける標語を募り6年生が中央階段に掲示する。



【会員証を渡して募集する】



【中央階段にある標語】

##### 【教師の役割】

- 教師も、自ら手本を示すとともに、正しい廊下歩行の指導の仕方についての共通理解を図り、全職員が足並みをそろえて指導を行う。

#### ● 第2回AKB大作戦「あいさつで ところをつなごう ぼくわたし」（9月～10月）

##### 【実施方法】

- ① きまりを守ろう委員会が、校内の各所で心のこもったあいさつを呼びかける。（1週目）
- ② きまりを守ろう委員会が、登校班班長会で、班長・副班長に登下校時に、保護者や地域の方々へのあいさつをしっかりと行うことを呼びかける。（2・3週目）《あいさつを、校内から地域へ広げる》
- ③ 「栗っ子ありがとうの日」の取組と関連させると共に、全校生からあいさつ標語を募集し、全ての階段に掲示する。（4週目）



【朝のあいさつの様子】

##### 【教師の役割】

- 道徳や特別活動、「栗っ子ありがとうの日」の取組と関連づけて指導を行い、教師自身もあいさつ運動に参加して指導に当たる。

### 成果

こうした取組をすることで、廊下歩行とあいさつに対する児童の意識に高まりが見られた。特にあいさつについては、11月の学校評価では、「できていると思う」と肯定的に答えた児童の割合が7%高くなった。「正しい廊下歩行」については、キャンペーンを実施した頃は意識が高かったが、キャンペーンが終わると、またできなくなる場合が見られ、継続して実践することについて課題が残った。今後、さらに効果を上げるためには、児童主体の生徒指導キャンペーンの実施と同時に、道徳や特別活動等の学習や日常的な学級担任の指導を通して、正しい廊下歩行やあいさつの意義を理解し、心から実践していこうとする心情を養うことが大切である。また、教師が互いに指導についての共通理解・共通行動を行い、常に自ら模範となって実践する姿を児童に見せることも成果を上げる大切なポイントであった。